

分野：自然への愛着 生態系・生物多様性

## 「よしみ里山プロジェクト」

環境アドバイザー

田島 麻帆

対象 県内親子参加者 19名/全体 20名

所要時間



4時間

場所 埼玉県比企郡吉見町田甲

実施時期

令和 3 年 5 月 16 日

## 概要

みんなで守ろう！育てよう！よしみ里山プロジェクト

この活動は、埼玉県比企郡吉見町の雑木林を所有する山主から人手不足で荒廃した林を何とか出来ないかと相談を受けたことをきっかけに 2012 年より保全活動を開始、数年間の保全活動により貴重な野草・野鳥観察まで回復。2018 年より年 6 回、親子向け野外ワークショップ活動を実施し、森林 ESD や里山保全活動を継続している。

プログラムの  
ねらい

テーマ 自然観察会・遊べる森づくり・2020 年活動の振り返り

活動地周辺は、ポンポン山や八丁湖（農業用水の溜池では比企地方最大の人造湖、周囲約 1.8 km の湖畔）等、ウォーキングコースやハイキングの好適地として親しまれている。周辺の木々や植物や昆虫を観察し周囲の自然環境の理解を深める。また森林環境は木材利用以外にも様々な利活用方法があることを体験する。

## プログラムの内容

## 1 10:30~12:00 (90分)

午前活動 オリエンテーション、自然観察会・振り返り

・当日は小雨がときどき降るような天候となったが、予定通りの自然観察会を短縮して実施した。人の生活につながりがある衣服の原料になる草や、生薬に使われる草花を観察、身近な環境のなかで利活用してきた先人の知恵を伝えながら、生き物や植物の観察を実施した。

## 2 13:00~14:30 (90分)

午後活動 遊べる森づくり・木をつかうクラフト活動（マイ箸づくり）（自由参加）

・樹間にロープをはりバランス遊びができるスラックラインや、ケーブルロープを樹間につなぐジップラインを設置して、森林（木々）空間を利用し、木材利活用以外の利用方法を体験した。

・間伐材（ヒノキ）を利用した箸づくりでは、小刀を使用し、木を削る体験を行った。

子どもも、大人も、木を削る活動に集中していて、自分の箸をつくることが出来た。

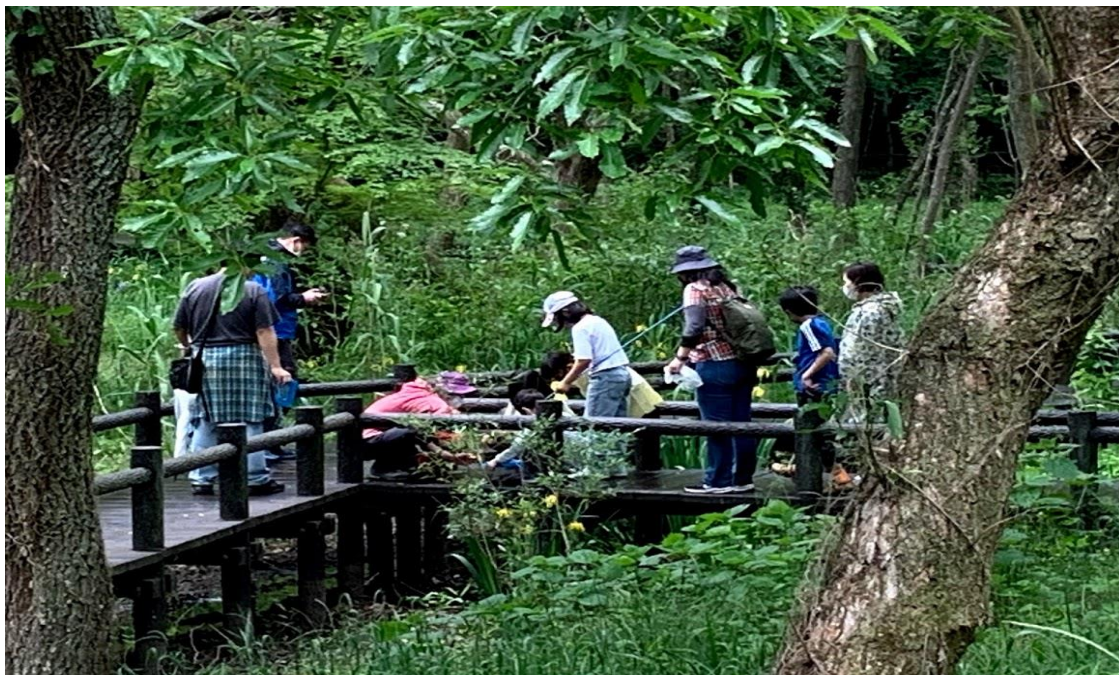
## 受講者の反応

・楽しみながら体験学習出来そうだったのが一番の動機でした。（保護者）

・子供たちが自然の循環や森や緑の大切さ、森林保護という問題を楽しく体験しながら学べたことは、子供たちにとって本当に貴重な機会だったと思います。また親もコロナ禍でなかなか外にでかける機会も減ってしまったので、自然で身体を動かすのがとても気持ち良かったです。（保護者）

・森の中で遊べた事が楽しかった。木のロープでターザンをやったのが楽しかった。（子ども）

## 環境学習の様子（写真）



上：自然観察会の様子      いくつかの八丁湖周辺コースから当日最適なコースを選択し、NPO スタッフと一緒に観察を行った。

下左：遊べる森づくりの様子      木の周りを保護して、ワイヤーやロープでジップラインを設置して遊べる森に変身！

下右上：遊べる森づくりの様子      ロープでスラッグラインを設置、大人気。下右下：間伐材（ヒノキ）を利用したマイ箸づくり。

